

【特集】花粉症について

- 診療科紹介 皮膚科 ● 咳について
- 病院の疑問解消!あれこれ
- 連携医療機関のご案内
- イベントのご案内 ● 専門外来を開設しました
- お知らせ ● 次号予告

公開講座に参加ください



花ざかり「川崎医療短期大学」

桜の淡い桃色の花びらが吹き乱れ、行き交う人の目を楽しませると共に春の訪れを感じさせています。

今号の特集
花粉症について

耳鼻咽喉科からのアドバイス
「今や国民病と
いわれる病、花粉症」

川崎医科大学附属病院 耳鼻咽喉科 部長 原田 保



花粉症の患者数は、1千万人を超えています。花粉症でスギ・ヒノキ花粉が最も多い原因抗原です。当科では平成6年から附属病院の屋上でスギ・ヒノキ花粉飛散数を測定しています。年により変化しますが、2月第1週に飛散が開始し、5月の第1週ごろ終了します。この時期にくしゃみ、鼻汁、鼻閉、目のかゆみなどの症状が出現します。アレルギー性鼻炎の国民年間総医療費は2千億円を超え、労働生産性も低下し、国民病と言われています。このような訳で、症状をなるべく抑え、QOLを上げるような治療が必要です。この目的で考えられたのが、初期療法です。これは花粉飛散開始1〜2週間前から抗ヒスタミン薬や抗ロイコトリエン薬を服用する方法です。この治療はかなり効果があり、患者さんに推奨されています。更に期待が持てる治療法が昨年秋季、厚生労働省に許可された舌下免疫療法です。免疫療法は注射で抗原を入れ、毒をもつて毒を制する治療法ですが、ショックを起こす危険性がありました。舌下免疫療法は患者さんご自身が抗原エキスを舌下に滴下する方法です。効果は注射に比べやや劣りますが、大きな差はなく安全です。スギ花粉症でお悩みの患者さんは是非お試しください。

眼科からのアドバイス
「知っておきたい治療法」

川崎医科大学附属病院 眼科 田中美和



花粉症とは、スギやヒノキなどの植物の花粉が原因となって、くしゃみ・鼻水、目のかゆみなどのアレルギー症状を起こす病気です。目の表面に原因物質(アレルギー)が付着することで、結膜に炎症が起こり「目のかゆみ」や「充血」などが出る症状をアレルギー性結膜炎と言います。花粉症もそのひとつで、花粉がアレルギーとなつて発症するものを季節性アレルギー性結膜炎、ホコリやダニなどがアレルギーとなり1年中症状がみられるものは通年性アレルギー性結膜炎と呼ばれています。

目に関わる花粉症の治療法

抗アレルギー点眼薬が第一選択薬です。抗アレルギー点眼薬で十分な効果がみられないときには、ステロイド点眼薬を併用します。ステロイド点眼薬を使う場合には、眼圧上昇などの副作用チェックのため眼科での定期的な検査が必要です。花粉症などのアレルギーは、症状が悪化すると薬が効きづらくなります。しかし、軽いうちに薬を使い始めると、花粉の飛散量が多くなった時期でも症状をコントロールしやすく、そのシーズンの症状を軽くすることができます。自分が季節性アレルギーか通年性アレルギーなのか把握し、早めの加療をお勧めします。



7 項目のチェックリスト

- 1 鼻水が出る
- 2 くしゃみが出る
- 3 鼻がつまる
- 4 味やにおいがよくわからない
- 5 鼻がつまってよく眠れない
- 6 口が渴く
- 7 咳が出る

チェックのポイント

項目に多く該当するほど、花粉症の可能性が高くなります。

花粉症予防のポイント

- 外出時には
マスクやメガネ、スカーフなどを着用し、花粉の目や鼻への浸入を防ぐ
- 帰宅時には
玄関に入る前に、衣類に付着した花粉を払い落とす
- 室内では
花粉の浸入を防ぐために、ドアや窓は閉めておく
- 睡眠を十分にとり、体調を万全に

花粉症かなと思ったら
今まで全く花粉症の症状を感じたことが無い人でも、突然くしゃみや鼻水、鼻づまりの症状が出る場合があります。自分では花粉症と風邪の症状を見分けられないことも多いため、自分の症状に疑問がある方は以下の項目に回答してセルフチェックを行ってください。また、チェック項目に多く該当した方は早めに医師や薬剤師に相談されることをお勧めします。

皮膚科では小児から高齢者に至る全ての年齢にわたり皮膚と粘膜に生じる病気を診ています。皮膚の疾患には、湿疹・皮膚炎や水虫、イボ、といったありふれた疾患から、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、乾癬、脱毛症、皮膚悪性腫瘍など難治な疾患、水疱症、角化症、重症薬疹など稀な疾患がありそれぞれ専門的な治療が必要です。中等症〜重症乾癬に対しては生物学的製剤による治療を積極的に行っています。また、他の病気の症状が皮膚に出ることがあり、「皮膚は内臓の鏡」と言われています。私達はこのことを常に頭において皮膚全体の診療を行っています。



皮膚科スタッフ(前列中央が藤本部長)

PROFILE
皮膚科のホームページはこちら
詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/dept/019.php>



